

今年は暖冬のせいで、スキー場の経営が出来なくなったり、又、冬物商品が売れないなどの悪影響が出ております。逆に、本来、冬場に売り上げが落ちる、積雪地域のゴルフ場が賑わっていたり、ビールやアイスクリーム等の売り上げが好調だったりするそうです。



IoTの基礎知識 (IoTとは何か?)

最近、良く目にする様になった「IoT」って何?言葉だけが一人歩きして、どういう意味なのかあまり知らない方が多いと思いますので、簡単に解説をしたいと思います。

①IoTとは?

「IoT」は「Internet of Things」の略でモノのインターネットなどと訳されます。「IoT」市場は2020年には、約365兆円市場となるとされており、今後急成長していく分野として注目されています。

②IoTによって実現可能なこと

「IoT」では、物がインターネットに繋がる事で、例えば、外出中に部屋を暖めておきたかったら、エアコンを遠隔操作する事で家に帰ってきた時には部屋を暖かくしておく事が可能になります。

又、電気機器を遠隔するだけでは無く、その他にも自動車やドローン・介護ロボット・植物を水やりやペットのエサやり等が自動的に行うが可能となります。

現時点では、「IoT」により大きく3つの事が出来ると言われています。

- ・ 遠隔操作
- ・ 遠く離れた場所の情報をしる遠隔監視
- ・ 機械どうしで通信を行うM2M

以上の様に、今後は「IoT化」がどんどん進み、車の自動運転をはじめ、色々な事が自動化され現時点では考えられない様な速度で、物事が進んで行くと思われれます。

ご意見・お客様の声などを書いて返信して下さいね。

ニュースレターの配信がご不要の方は配信を止めさせて頂きますのでお手数ですが、上記欄にFAX番号を記入の上ご返信して下さい。宛名に覚えの無い方も配信を停止しますのでFAX番号を記入してご返信下さい。お名前だけですと停止手続きができない場合がございますので必ずFAX番号の記入をお願い致します。

バーチカルカッターのご紹介

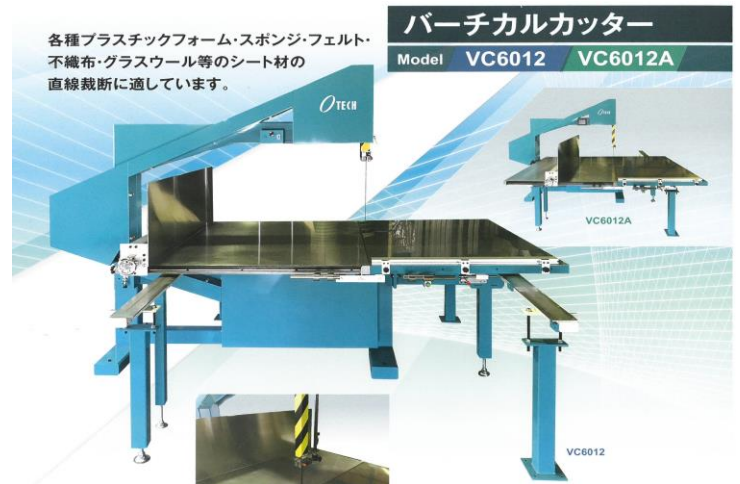
このバーチカル裁断機は、バンドナイフのスライドテーブル式と違って、裁断する能力が高く、スポンジやフェルト・グラスウールやプラスチックフォーム等の裁断に適しています。

特徴:

- ・ テーブル・定規ゲージにアルミ材を使用し、軽量でスムーズに裁断できます。
- ・ 手前にワークストッパー装備されており、直角な裁断も簡単です。
- ・ インバーター制御でナイフ回転速度変更可能
- ・ 6012A型は、自動で定規の位置決めが可能
- ・ テーブルの寸法は、希望サイズに製作可能

オプション:

ワーク押え装置・バキュームテーブル・集塵装置
超強カッター仕様・定規ゲージ両面仕様
シグナル灯



ご興味ある方は、お問い合わせください。

サ プ リ ナ 株 式 会 社
ニュースレター担当者: 東道 隆行
TEL: 0725-22-4801
FAX: 0725-23-3486
<http://www.suprena.co.jp>